

やまぐちの ふくし

社会福祉法人 山口県社会福祉協議会
総務企画部 総務班

〒753-0072 山口市大手町9番6号

TEL:083-924-2777 FAX:083-924-2792

Email: ygshakyo@orange.ocn.ne.jp

URL: http://www.yamaguchikensyakyo.jp

令和6年3月1日発行

県社協ニュース“やまぐちのふくし”では、毎月1回発行し、制度や施策の動向など、随時情報提供していきます。



「やまぐちのふくし」の表紙写真を募集しています。詳しくは、総務班までお問合せください！



トピックス

- 令和6年能登半島地震 被災地支援について・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・2
- 「2024県内進学・仕事魅力発信フェア in 山口」について・・・・・・・・・・・・・・3
- 山口県福祉サービス運営適正化委員会 福祉サービス苦情解決制度研修会について・・4
- 令和6年度福祉サービス第三者評価受審施設・事業所募集のご案内・・・・・・・・・・5
- 寄附・寄贈・・・6～7



山口県社協からのお知らせ

令和6年能登半島地震 被災地支援について

本会では、県内外の社会福祉協議会をはじめ、社会福祉法人・福祉施設等の関係者と連携を取りながら、被災地支援の取り組みを進めています。



1 災害ボランティアセンター運営支援にかかる職員派遣について

石川県内で設置されている災害ボランティアセンターの運営支援のため、本会及び市町社協から以下のとおり職員を派遣する予定です。

- (1) ①派遣期間 3月17日(日)～3月23日(土)
②派遣場所 石川県鳳珠郡能登町
③派遣人数 2名(県社協、光市社協 各1名)
- (2) ①派遣期間 3月27日(水)～4月2日(火)
②派遣場所 石川県鳳珠郡能登町
③派遣人数 4名(県社協、下関市社協、宇部市社協、山口市社協 各1名)

2 福祉避難所等への山口県 DWAT (災害派遣福祉チーム) の派遣について

山口 DWAT 登録員は3月17日に、石川県金沢市内の1.5次避難所等にて、受付業務支援、なんでも相談ブース運営、アセスメント等、その他他チームと連携した対応のため、現地に向かう予定です。

3 社会福祉施設等に対する介護職員等の派遣について

被災地域における社会福祉施設の入所者等の生活の確保や1.5次・2次避難所での要配慮者のケアのため、介護職員等が継続して派遣されています。

◆問合せ先

総務企画部 総務班

TEL : 083-924-2777 FAX : 083-924-2792





「2024県内進学・仕事魅力発信フェア in やまぐち」 に参加しました！

令和6年2月14日（水）に、維新百年記念公園・維新大晃アリーナ（山口市）にて「2024県内進学・仕事魅力発信フェア in やまぐち（2024 県内進学・魅力発信フェア実行委員会・山口県など主催）」が開催され、山口県福祉人材センターは、山口県介護福祉士会と共催して福祉・介護のしごとの魅力を伝えるため、出展させていただきました。

このイベントは、若者の県内定着の促進を目的に開催されるもので、高校1・2年生を対象に、地元での進学や就職について考えてもらえるよう、学校案内、学校・仕事体験、企業紹介など様々なコーナーが設置されます。当日は、県内の大学、短期大学、専門学校等34校、介護福祉士をはじめとした専門職の仕事紹介31職種、企業紹介35社など多数のブースが開設され、来場した高校生（14校1,775人）は、思い思いに各ブースを回り、学校の特色や仕事の説明を受けたり体験したりしていました。

山口県福祉人材センターが出店した「仕事紹介」コーナーの「介護福祉士・福祉の仕事」ブースには、12校72人の高校生が訪れ、山口県介護福祉士会所属の現役介護福祉士4名が、高校生からの質問や相談に答えながら、福祉・介護の仕事の魅力ややりがいを分かりやすく説明しました。

「福祉の仕事についてはほとんど知らない」という生徒から、「卒業後、介護福祉士の資格をとって仕事に就きたい」という生徒まで、生徒の福祉への思いは様々ですが、このイベントをきっかけに、福祉・介護業界への理解を深め、関心を高めていただけたのではないかと考えています。

山口県福祉人材センターでは、今後もこうした機会をとらえて、将来を担う若者へ福祉・介護の魅力を伝える取組を積極的に進めていきます。



- ◆ 問合せ先
福祉人材部（山口県福祉人材センター）
魅力発信班
TEL：083-902-2355 FAX：083-902-5877





山口県福祉サービス運営適正化委員会

福祉サービス苦情解決制度研修会を開催しました

2月15日（木）に、福祉サービス事業所における第三者委員、苦情解決責任者及び苦情受付担当者を対象に、苦情解決制度における「第三者委員」の役割について振り返るとともに、今後の活動や現在抱えている課題解決の参考とすることを目的に研修会を開催しました。

委員会事務局からの苦情受付状況の報告に続いて、県立広島大学保健福祉学部保健福祉学科人間福祉学コース講師 手島 洋 氏より、『苦情解決制度における第三者委員の役割と活動について』と題して御講義いただきました。

また、（前）社会福祉法人山口県社会福祉協議会第三者委員 古川 英希 氏より『苦情解決のための第三者委員の活動と課題について』と題して御講義いただきました。

参加者からは「第三者委員の役割が理解できた」「具体的な事例を挙げながらの説明でわかりやすかった」「第三者委員として施設に顔をだすことから始めたい」「本気で苦情を聴くことが大切だと思った」などの反応がありました。

御参加いただきました皆様の、法人・事業所での苦情解決に向けた取組みの一助となれば幸いです。



◆問合せ先

山口県福祉サービス運営適正化委員会 事務局

TEL：083-924-2837

FAX：083-924-2793





令和6年度の受審施設・事業所募集のご案内 ～福祉サービス第三者評価を受けてみませんか？～

福祉サービス第三者評価事業は、事業者の提供するサービスの質を当事者（事業者及び利用者）以外の公正・中立な第三者機関が、専門的かつ客観的な立場から評価するものです。山口県社会福祉協議会は、山口県から認証を受けた県内で唯一の評価機関です。

【福祉サービス第三者評価事業の目的】

- 個々の事業者が社会福祉事業運営における具体的な問題点を把握して、サービスの質の向上に結びつけること。
- 評価を受けた結果が公表されることにより、評価結果等が利用者の適切なサービス選択に資するための情報となること。

【受審事業所からいただいた声】

- ◎ 問題点を改善するための効果的かつ具体的な目標設定が可能になりました！
- ◎ 職員の自覚と改善する意欲が生まれました！
- ◎ 信頼の獲得と質の向上が図られました！

【受審の流れ】

（1）契約締結



評価料金は、高齢者及び障害児・者の施設・事業所、救護施設、婦人保護施設、保育所は1事業につき263,000円（税込）、社会的養護関係施設は308,000円（税込）です。

（2）自己評価の実施・事前書類の提出



訪問調査の前に自己評価を実施し、事前提出書類を本会に提出します。

（3）訪問調査の実施（1日）



評価調査者が施設・事業所を訪問し、1日かけて調査を行います。

（4）評価結果の報告、公表

山口県及び本会のホームページ、WAMNET等で公表します

評価の公表期間は、評価実施の翌年度から起算して3年間です。

社会福祉法人改革を含む論議の中で、「法人組織の体制強化」「法人運営の透明性の確保」が社会福祉法人の在り方として求められております。第三者評価の受審はそのような項目と密接に関連があります。

第三者評価事業は福祉サービスの質の向上を促すためのシステムのひとつです。社会福祉法人の関係者の皆さまへは、文書にてご案内いたしますのでご確認ください。

申込締切日は4月30日（火）です。福祉サービス第三者評価を受けてみませんか？

◆問合せ先

総務企画部 福祉振興班

TEL：083-924-2799 FAX：083-924-2798 HP：<http://yamaguchi-hyoka.jp/>





寄附・寄贈

表紙の写真

災害時の被災者支援として生命保険ファイナンシャルアドバイザー協会
(JAIFA) 様より、防災セット 100セット の寄贈をいただきました

日 時 : 令和5年1月30日 (火)
 寄贈者 : 生命保険ファイナンシャルアドバイザー協会 (JAIFA) 様
 寄贈品 : 防災セット 100セット
 寄贈者 : 公益社団法人 生命保険ファイナンシャルアドバイザー協会 山口県協会
 会長 國吉 拓克 氏
 専務理事 小野 嘉孝
 受領者 : 社会福祉法人 山口県社会福祉協議会



災害時の被災者支援として活用させていただきます。
ありがとうございました。

◆問合せ先

総務企画部 総務班 TEL : 083-924-2777
FAX : 083-924-2792





「ポップサーカス山口公演」読売新聞西部本社及び株式会社ポップサーカスによる山口県福祉施設利用者の招待目録贈呈式が行われました



日 時：令和6年2月6日（火） 午後1時30分～午後2時
会 場：山口県社会福祉会館 3階 Web 等会議室

ポップサーカスは、日本を代表するサーカス団の1つで、世界各国から集まったトップレベルのパフォーマーによる、スリルや感動、興奮にあふれるステージを披露されています。

この度14年ぶりに山口県で行われる、「ポップサーカス山口公演」に、山口県内の福祉施設利用者を無料で招待されることとなり、目録の贈呈式が行われました。

【次第】

- (1) 出席者紹介
- (2) 読売新聞西部本社 事業推進室長 あいさつ
- (3) ポップサーカスの説明
- (4) 贈呈【目録】
- (5) 山口県社会福祉協議会 会長 お礼の言葉



【出席者】

- | | | | |
|---------|-------------------|----------|---------|
| (1) 贈呈者 | 読売新聞西部本社 | 事業推進室長 | 玉城 夏子 氏 |
| | | 事業推進室事業部 | 原田 久 氏 |
| | 株式会社ポップサーカス | 営業部長 | 下垣 純 氏 |
| (2) 受贈者 | 社会福祉法人 山口県社会福祉協議会 | 会長 | 隅 喜彦 |
| | | 専務理事 | 小野 嘉孝 |



◆問合せ先

総務企画部 総務班 TEL：083-924-2777 FAX：083-924-2792

令和5年度

スケールメリットを活かした割安な保険料で
充実補償をご提供します!



ホームページでも内容を紹介しています
https://www.fukushihoken.co.jp



社会福祉施設総合損害補償

しせつの損害補償

◆加入対象は、社協の会員である社会福祉法人等が運営する社会福祉施設です。

プラン1 施設業務の補償

(賠償責任保険、医師賠償責任保険、看護職賠償責任保険、サイバー保険、
動産総合保険、費用・利益保険)

1 基本補償(賠償・見舞費用)

保険期間1年

▶保険金額			
	基本補償(A型)	見舞費用付補償(B型)	
賠償事故に対応	身体賠償(1名・1事故)	2億円・10億円	2億円・10億円
	財物賠償(1事故)	2,000万円	2,000万円
	受託・管理財物賠償(期間中)	200万円	200万円
	うち現金支払限度額(期間中)	20万円	20万円
	人格権侵害(期間中)	1,000万円	1,000万円
	身体・財物の損壊を伴わない経済的損失(期間中)	1,000万円	1,000万円
	徘徊時賠償(期間中)	2,000万円	2,000万円
お見舞い等の各種費用	事故対応特別費用(期間中)	500万円	500万円
	被害者対応費用(1名につき)	1事故10万円限度	1事故10万円限度
	傷害見舞費用		死亡時 100万円 入院時 1.5~7万円 通院時 1~3.5万円

- オプション1 ●訪問・相談等サービス補償
- オプション2 ●施設の医療事故補償
 - ・医務室の医療事故補償
 - ・看護職の賠償責任補償
- オプション3 ●施設の借用不動産賠償事故補償
- オプション4 ●クレーム対応サポート補償
- オプション5 ●施設の感染症対応費用補償
休業補償から各種対応費用までワイドな安心

- ①休業や縮小営業による収益減少はもちろん、収益減少を防止・軽減するための人件費なども補償
- ②消毒・清掃費用や自主的なPCR検査費用など、かかった費用を幅広く補償
- ③感染症対応特別費用で定額20万円を早期に受取り

- 2 個人情報漏えい対応補償
- 3 施設の什器・備品損害補償

プラン2 施設利用者の補償

(普通傷害保険)

- 1 入所型施設利用者の傷害事故補償
- 2 通所型施設利用者の傷害事故補償
- 3 施設送迎車搭乗中の傷害事故補償



プラン3 職員等の補償

(労働災害総合保険、普通傷害保険、約定履行費用保険、雇用慣行賠償責任保険)

- 1 職員の労災上乗せ補償
使用者賠償責任補償
- 2 役員・職員の傷害事故補償
- 3 役員・職員の感染症罹患事故補償
- 4 雇用慣行賠償補償



プラン4 法人役員等の補償

(役員賠償責任保険)

社会福祉法人役員等の賠償責任補償

●このご案内は概要を説明したものです。詳細は「しせつの損害補償」手引またはホームページをご参照ください。●

団体契約者 社会福祉法人 全国社会福祉協議会

取扱代理店 株式会社 福祉保険サービス

〈引受幹事
保険会社〉

損害保険ジャパン株式会社 医療・福祉開発部 第二課
TEL: 03(3349)5137

〒100-0013 東京都千代田区霞が関3丁目3番2号 新霞が関ビル17F
TEL: 03(3581)4667

受付時間: 平日の9:00~17:00(土日・祝日、年末年始を除きます。)

受付時間: 平日の9:30~17:30(土日・祝日、年末年始を除きます。)

(SJ22-12033 から抜粋)